

2025年度年末一時金に関する第1回団体交渉（11月6日 15:00～）

- ◆**今交渉は主張交渉と位置付け、要求趣旨を再度会社伝えるとともに、職場集会やアンケートで寄せられた組合員の皆さんの声を主張しました。**
- ◆**会社回答決定前に、より検討を促すため、職場意見を中心に主張をおこないました。**

第1回団体交渉概要**組合主張要旨**

- 高い損益計画の達成に向けて、力を尽くしてきた職場の取り組みと成果を評価していただき、この努力が次の挑戦につながるよう、成果として生み出された利益を、組合員・従業員に一時金として分配されることを期待しています。
- 物価が上昇しているなかでも、会社が自分たちの生活を守ろうとしてくれていると感じられることが、JR-Crossで働く安心感につながり、組合員・従業員のエンゲージメントを高めることができると考えています。
- 次回の交渉では、これまでの努力の成果に報い、更なる高みを目指して取り組むために、そして生活の安定とモチベーションや働きがいの向上のためにも、組合員・従業員の期待や思いを受けとめた回答が示されることを切望します。

会社回答要旨

- 社長をはじめ、各カンパニー長も、皆さんが本当に一生懸命日々働いていただいていることを目の当たりにしていますので、そのことを踏まえてどれだけ応えることができるのかを検討しています。
- 賃金改善を実施していますので、昨年度とベース（基礎額）が違うなかで、今年の年末一時金が支給されるということは認識していただきたいと思います。
- 皆さんの思いが、要求書にも表れていると思います。本日の話も踏まえて十分検討したいと思います。

《要求趣旨について》

【組 合】10月21日に、2025年度年末一時金に関する団体交渉の申し入れとあわせて、要求書を提出しました。

要求書提出以降、すでにさまざまな観点から検討がなされていると思いますが、より会社に検討を求めるという思いで、あらためて要求趣旨を述べるとともに、これまでに聴取してきた今交渉に関する組合員の声や想いを主張します。

【組 合】はじめに、今要求の趣旨について述べさせていただきます。

年末一時金については、職種を問わず組合員・従業員が自らの責任と役割を果たし、事業計画に掲げられた各種施策に対応するなど、損益計画の達成に向けて弛まぬ努力を続けた成果に対する、正当な分配を求める要求となります。

会社の現状を捉えれば、前年を上回る業績となっていますが、会社を取り巻く経営環境が厳しいなかでも、今年度に掲げられている営業利益185億円という高い目標の達成に向けては、更なる努力・挑戦が必要であると認識しています。

そして、年度末だけではなく、中長期に向けて、引き続き損益計画の達成を目指していくためには、これから先も頑張っていくモチベーションとなるものが必要であると考えています。このことから、組合員・従業員の奮起をより促す基準月数とすることとし、正社員・地域限定正社員・エルダー社員については2.90カ月、Fスタッフ・Tスタッフについては1.74カ月を要求しています。

また、一時金の基準月数を決定するうえで、原資となる会社業績は重要な要素になると認識していますが、世の中の状況も無視することはできないと考えています。JR-Crossの一時金が一大企業として「魅力的」であることや、物価が上昇し続けるなかでも「安心感」が得られるということは、働く個々人の生活の安定を図るとともに、働きがいの向上につながると考えています。

年度末、そして中長期に向けて、更なる努力・挑戦が求められているいま、適切な設備投資・成長投資をおこなうことと合わせて、人への投資をおこなうことが求められています。これまでの努力の成果と、今後、更なる高みを目指した取り組みをおこなうための活力となる回答が示されることを切望しています。

以上が、私たちの要求趣旨になります。

《職場意見の主張》

【組 合】各職場では、これまでになく高い計画値の達成に向けて一人ひとりが、本来にできる限りの努力を積み重ねてきました。そうしたこれまでの頑張り・努力に対してあげられた職場の声をお伝えします。

はじめに、2025年度に掲げられている計画の達成に向けて、基本の徹底を愚直に進めてきた各職場の姿勢についてです。

「発注精度の向上、売場改善など、客数増に向けてAスタッフと共に考え、売上を上げてきました。」

「商品選定や陳列など、みんなで意見を出し合いながら増収に向けて頑張りました。」

「スタッフと共にお客さまが何を求めているのかを常に考え、売り場づくりに取り組みました。」

「単価が上がる一方で、買い上げ点数が下がる状況のなか、店舗の目標達成に向けて、スタッフと共に取り組んできました。」

「重点商品やキャンペーン商品の売り込みを強化し、計画の達成につなげていきます。」

「高い目標数値をクリア出来るよう、日々数字を意識しながら働いています。」

「シフト再構築をはじめモデルプロセスや店舗チャレンジ、毎週のアクション投稿など多くのことに取り組んできました。」

「施策や基本の徹底、イベントやJR施策対応などプラスαの売上施策にも積極的に取り組み、計画達成のために尽力しました。」

「組織改正やシステム変更に対応し、問題点や改善提案を絶えずおこなってきました。」

次に、要員不足・人員不足のなかでの各職場における努力についての意見をお伝えします。

「人手不足のなか、社員を含めスタッフ全員で売上確保のために努力してきました。」

「業種として常に要員不足のため、他店から支援要請の連絡があった場合は、できるだけ自店舗の要員を調整し、他店に支援に行くようにしています。仲間同士で声をかけ合い、社員と一緒に現場に入って支えてきました。」

「人手不足という厳しい環境のなかでも、一つひとつの努力が積み重なって、業界でも最高水準の平均日商という成果を生み出しています。」

「支店としても売上を確保するために、シフト入店対応や、イベント対応、商品導入などに取り組んできました。」

また、今夏は昨年にも増して酷暑となったなかでの頑張りに対する声もあげられています。

「酷暑のなかで、自身や家族の体調管理、また、同じ職場で働く従業員への配慮、お客さまへの安心安全への取り組みに日々取り組んできました。」

「酷暑のなかでも、日商記録更新や計画達成に努めました。」

「酷暑による体力的な消耗が激しいなか、積み上げた実績を評価していただきたいです。」

さらに職場では、これまでもなく高い計画を達成すべく、売上・利益の確保に向けて最大限の努力をしてきました。

「店舗面積が限られているなかでも、構造的な補充のしづらさを工夫で乗り越え、時間内で効率良く補充できるよう動線や作業手順を見直し、生産性向上に取り組みました。」

「計画達成に向けてAスタッフにも数字を意識するように指導してきました。利益率も共有し、自社オリジナル商品がしっかり売れるよう売り場改善にも注力しました。」

「駅の周年イベントや地域のイベントへの積極参加、現場仕入れ商品の積極的な導入など、少しでもトップラインを上げられるよう、努めてきました。」

「高い計画を達成するために、品揃えの見直し・棚替え・適正な発注と日々試行錯誤し最大限の努力をしています。」

「目標達成のため、店舗一丸となり毎日頑張りました。営業時間の延長、売り込み商品の選定、新規商品の導入、訪日外国人のお客さまに向けてなど、昨年より試行錯誤を繰り返し、なんとか目標達成できました。」

「支店収支が厳しい状況にあるなか、新しい取り組みにも次々と挑戦してきました。」

「デベロップメントカンパニー全体で、新たな販促キャンペーンや話題性のあるイベント誘致で実績を積み上げてきました。」

このほかにも、職場の頑張りや努力に対する多くの声があげられました。お伝えした内容は、アンケートや職場集会、日々の活動のなかで寄せられた代表的な意見の一部となりますが、各職場で働く組合員・従業員一人ひとりの努力・頑張りのうえに今日のJR-Crossが成り立っていると捉えており、今交渉の場を通じてお伝えさせていただきました。

【組 合】今年度に掲げられている損益計画の達成に向け、現場では、基本の徹底を愚直におこなうことに加え、各種施策やイベント、JR施策など、プラスαの取り組みを積極的に進めてきました。特に今年は酷暑など厳しい職場環境下においても、店舗やチームが一丸となり、売上向上と生産性向上に努めてきました。こうした日々の積み重ねが、昨年を上回る増収増益という成果につながり、JR-Cross全体を力強く支えています。

また、現場では日常の業務にとどまらず、新たな売上や価値の創出にも挑戦し、「1円でも多くの売上・利益につなげるには何ができるか」を一人ひとりが真剣に考え行動し、今できることに全力で取り組んできました。

将来に向けた価値づくりにおいても、企画部門と現場が協力し、「ニュータス」や「TOKYOORIGINALS」といった新たなプライベートブランドの開発に加え、エキュートのリニューアルや秋葉原店の新規オープンなど、カンパニーや業態を問わず、ブランド力強化と新たな価値創出にもしっかりと貢献してきました。

このように、各職場では現状に甘んじることなく、高い目標に向けて創意工夫を重ね、成果を生み出してきました。組合員・従業員一人ひとりの努力と成果が適切に評価され、誠実に配分されることで、「また頑張ろう」「次はさらに良い成果を出そう」という前向きな気持ちが生まれます。努力がきちんと報われる実感は働きがいを高め、さらなる挑戦と成長につながり、その好循環こそが、これからも高い計画を達成し続ける力となり、会社の持続的な発展にもつながると考えています。

これまで以上に高い損益計画の達成に向けて、力を尽くしてきた職場の取り組みと成果をしっかりと評価していただき、この努力が次の挑戦につながるよう、成果として生み出された利益を、今、組合員・従業員に一時金として分配されることを期待しています。

また、今交渉は賃金交渉ではないものの、物価上昇に対する声もあげられているためお伝えします。

「物価上昇の影響もあり、一時金は家族の生活を守るための生活給となっています。」

「物価上昇が続いており、より一層、日々の生活費を一時金で補うようになっています。」

「物価上昇に対する手立てとして、せめて一時金で私たちの生活を支えてほしいです。」

「物価上昇による生活への影響は非常に大きいため、組合員・従業員の生活を踏まえて基準月数を検討してほしいです。」

といった意見です。2025年10月公表の、全国の消費者物価指数を捉えると、前年同月比は3%程度上昇しており、右肩上がりに物価が上昇していることがわかります。

物価が上昇し、実質賃金が減少することにより、年齢や役職を問わず、等しく生活への影響が生じることは間違いありません。

そのようななかでも、会社が自分たちの生活を守ろうとしてくれていると感じられることが、JR-Crossで働く安心感につながり、組合員・従業員のエンゲージメントを高めることができていると考えています。

【組 合】要求趣旨及び組合員の声・想いを主張させていただきましたが、会社の検討にあたり、現状の会社業績の認識や、今交渉の要求に対する基本的な考えなどをうかがいたい。

【会 社】要求された内容、皆さんの想いは受けとめたいと思います。

社長をはじめ、各カンパニー長も、皆さんが本当に一生懸命、日々働いていただいていることを目の当たりにしていますので、そのことを踏まえてどれだけ応えることができるのかを検討しています。本日いただいた要求の内容を、職場の声を受けとめて、年末一時金もできる限りの回答をしていきたいと思っています。

そのなかで、今年度は3年連続ベースアップをおこないました。皆さんに頑張ってもらっているなかで、どれだけお応えすることができるかを考え、一番良いかたちとして昨年度を上回る賃金改善を実施しました。賃金改善を実施していますので、昨年度とベース（基礎額）が違わないなかで、今年の年末一時金が支給されるということは認識していただきたいと思います。

【組 合】また、私たちは11月14日を回答期限として要求しています。労使双方が納得のうえで早期に交渉を終え、年度末に向けて各種施策の取り組みを加速させるべきであると考えていますので、期限内での回答をお願いしたい。

【組 合】今回の交渉では、改めて要求趣旨・組合員の想い・声を主張させていただき、会社の現状における考え、検討状況を確認させていただきました。最後に繰り返しとなりますが、今回の交渉では、これまでの努力の成果に報い、更なる高みを目指して取り組むために、そして生活の安定とモチベーションや働きがいの向上のためにも、組合員、従業員の期待や思いを受けとめた回答が示されることを切望しています。以上のことをお願いし、次回団体交渉の具体的な日程については窓口で調整させていただければと思いますので、よろしくお願いします。

【会 社】皆さんの想いが、要求書にも表れていると思います。本日の話も踏まえて十分検討したいと思いますので、よろしくお願いします。

第2回団体交渉は、

11月12日（水）10：00～ 開催予定です。

今交渉への引き続きのご注目のほどよろしくお願いします。